

令和3年度

事業計画書

養護老人ホーム 真幸園

社会福祉法人えびの明友会

基本理念

人生の荒波は、時に人を容赦なく飲み込み、疲弊と挫折を見舞わせる。
人は老後の不安や寂しさ、自我の喪失、自己重要感が満たされぬ葛藤、身体的不自由、肉体的苦痛からくるストレスに苛益される。

人が真に求め、真に必要なものは、愛である。愛を忘失し不毛の地を彷徨う旅路に、人は、オアシスを探し求める。そのオアシスこそ愛という存在である。

愛は二元性の経験の超越、一体性の経験ともいわれる。

スタッフは利用者を親、家族のように思い、慕い、そして接す。共に喜び、共に悲しみ、一体感の人間関係を築く。そこに愛を体験する。

スタッフは、専門性の修得、知識の研鑽に努め、スタッフ同士と協力し、助け合う。

そこにアイデンティティの発見とスタッフの一体感を目指す。

社会福祉法人 えびの明友会

理事長 桑原 健悟

運営方針

1. 地元が開かれた施設として運営していく為に、理事会の機能を活性化し、運営内容の透明性を高め、経営的責任を負えるような体制の確立を目指します。
2. 地域の医療・保健・福祉関係機関・団体との連携を図り、地域に根差した福祉サービスの担い手にふさわしい法人・施設運営を目指します。
3. サービスの利用と提供する施設側との対等な関係を確立する。利用者の満足度を高めるとともに、サービスの質の向上、事業の効率化を図ります。
4. 地域住民の積極的な参加を促し、地域住民が運営や評価にも主体的に参加できるシステムを構築し、ボランティアの受け入れや行事等を通して地域に根差し「開かれた施設」を目指します。
5. 外部サービス利用型特定施設として、利用者の現況に応じたサービス計画を作成し、満足した施設生活を送れるよう援助します。

令和 3年度 施設行事年間計画

月	年間行事	慰問	目的等
4	春の散策(フローランテ宮崎) 地域交流グランドゴルフ大会 誕生会	○	色とりどりの季節の花でこころをいやして 地域の方と一緒に交流を図る 4月生まれの利用者の誕生を祝う
5	ミニグランドゴルフ大会 県南BGG大会 誕生会	○	交流大会を前に全利用者で競技を楽しむ 県南10施設で体力増強と交流を図る 5月生まれの利用者の誕生を祝う
6	初夏の収穫・梅ちぎり 郷土めぐり 誕生会	○	施設内・外の梅ちぎりで季節感を味わう 市内の名所を知る 6月生まれの利用者の誕生を祝う
7	ソーメン流し(湧水町) 七夕まつり 誕生会	○	竹中池ソーメン流しで季節感を味わう 七夕飾りで夏の風物詩を味わう 7月生まれの利用者の誕生を祝う
8	夏まつり お墓参り 誕生会	○	地域の方と一緒に祭りを楽しむ 郷土の墓参りを実施し、精神の安定を図る 8月生まれの利用者の誕生を祝う
9	日帰り旅行 屋外食 敬老会兼誕生会	○	観光を楽しむことで気分転換を図る 旅行不参加者だけ屋外食で気分転換を図る 利用者の長寿を祝うと同時に誕生者を祝う
10	県南B利用者交流大会 運動会 秋の散策(コスモス花見) 誕生会	○	県南10施設で軽運動会を通して交流を図る 地域の方と一緒に競技を楽しむ 満開のコスモスを見にドライブ(市内・生駒) 10月生まれの利用者の誕生を祝う
11	収穫旅行(みかん狩り) えびの市産業文化祭見学 誕生会	○	農園で、みかん狩りの楽しさを味わう 地元の文化祭に参加できる喜びを味わう 11月生まれの利用者の誕生を祝う
12	クリスマス兼誕生会 餅つき	○	園児たちと一緒にクリスマス会を楽しむ 年末行事として利用者と一緒に餅つきを行う
1	初詣(金松法然) めの餅飾り 誕生会		市内の神社参拝で健康を祈願する 施設内に飾り五穀豊穡と健康を祈願する 1月生まれの利用者の誕生を祝う
2	節分 誕生会		豆まきを行い無病息災を願う 2月生まれの利用者の誕生を祝う
3	初春ドライブ(梅園見学) 昼食会(出の山) 誕生会 桜花見		人吉梅園に梅の花見ドライブで季節感を味わう 屋外での食事会を楽しむ 3月生まれの利用者の誕生を祝う 満開の桜を見にドライブ(市内)

- * 使用車両はえびの市の大型バスを利用。
- * その他、利用者の希望に随時対応。
- * 慰問者には事前に連絡し確認を行う。
- * 令和3年度の行事については、新型コロナウイルス感染予防のため柔軟な対応を行う。

令和 3年度 各種委員会計画

感染対策委員会(設置義務)	委員長	(看護師)
---------------	-----	-------

- ① 施設内外の衛生管理に努める。(環境の整備, 排体積廃物の処理、血液・血液の処理等)
- ② 日常のケアに係る感染対策を行う。(血液・分泌物・排泄物(便)等の処理方法等)
- ③ 感染症又は食中毒の予防及びまん延防止のための対策を検討する。
- ④ 支援員およびその他の従事者に対する感染症・食中毒の研修を行う。
- ⑤ 委員会は毎月1回開催する。委員会で討議された事項は記録しておく。

事故防止対策委員会 (設置義務)	委員長	(看護師)
------------------	-----	-------

- ① 施設内における様々な事故を防止し、安全且つ適切に介護サービスを提供する体制を整える。
- ② 施設内で発生した介護事故、事故には至らなかったが事故が発生しそうになった場合(ヒヤリ・ハツ事例)の分析を行い、職員へ報告し再発を防ぐ。
- ③ 委員会は毎月1回開催する。委員会で討議された事項は記録しておく。

身体拘束廃止委員会	委員長	(看護師)
-----------	-----	-------

- ① 研修会への参加、研修会の開催、情報交換
- ② 毎月1回委員会を開催する。委員会で討議された事項は記録しておく。

令和 3年度 職員年間研修計画

目 的

常に問題意識を持ち、施設職員としての資質の向上を目指す。
自身の担当業務に応じた必要な知識及び技術を習得する。

施設外研修

(1) 県南ブロック職員研修

- 4月 : 施設長・相談員合同会議(総会)
- 6月 : 栄養士研修 ・ 調理員研修
- 7月 : 事務員研修
- 8月 : 施設長・相談員合同会議
- 10月 : 支援員研修 ・ 先進地視察研修
- 11月 : 看護師研修
- 1月 : 施設長・相談員合同会議

(2) 県老人福祉サービス協議会の主催する研修

(3) 県社会福祉協議会が主催する研修

(4) 法人内による研修(社会福祉法人・医療法人)

(5) 施設内での職員による研修

(6) 研修参加した際の研修報告

* 令和3年度の研修については、新型コロナウイルス感染予防のため柔軟な対応を行う。

令和 3年度 非常災害 ・ 避難訓練実施計画書

目的

火災・地震・台風・その他の非常災害が発生した場合に備えて、利用者を安全且つ迅速に避難させるための訓練を行い、その訓練を通じて非常災害時に適切に対応できるように努める。

実施月及び訓練内容

実施月	訓練内容	昼夜の区別	出火場所	実施者	記録	備考
4月	非常招集訓練	夜間	居室	全職員	相談員	
	地震対応訓練	昼間	全館	日勤者	相談員	
5月	水害訓練	昼間	全館	日勤者	相談員	
6月	避難訓練	昼間	洗濯場	日勤者	相談員	
7月	避難訓練	夜間	厨房	全職員	相談員	地域との合同訓練
8月	避難訓練	昼間	南談話室	日勤者	相談員	
9月	総合防災訓練	昼間	居室	全職員	相談員	消火訓練
10月	避難訓練	昼間	厨房	職員	相談員	
11月	避難訓練	夜間	居室	全職員	相談員	地域との合同訓練
12月	非常招集訓練	昼間	食堂談話室	日勤者	相談員	
1月	地震対応訓練	昼間	全館	日勤者	相談員	
2月	避難訓練	昼間	支援員休憩室	日勤者	相談員	
3月	総合防災訓練	昼間	厨房	全職員	相談員	消火訓練

・対応者 … 職員及び利用者(当日体調不良者は除く)

- ・ 防災計画に基づいて訓練を実施する。
- ・ 防災設備の管理を行う。(防災管理者:施設長)
- ・ 実施した訓練内容及び訓練時間の記録整備をする。
- ・ 消防署及び近隣との協力体制づくりを整える。

* 令和3年度の地域との合同訓練については、新型コロナウイルス感染予防のため柔軟な対応を行う。